

強みを武器にした差別化戦略 長寿命化、防災、生活提案も加速

ストック時代を迎え、住宅の耐久性があらためてクローズアップされている。その重要な対策の一つが通気・換気。その性能はもとより、防火性能、デザイン、防災対策など、社会環境のなかでさまざまなニーズの広がりが出ており、メーカー各社は自社の強みを生かしながらの差別化戦略を推し進めている。

住宅の耐久性に対する関心が高まっている。長期優良住宅の取り組みを例にあげるまでもなく、住宅政策はすでに新築からストックへと軸足を移している。ストック数が世帯数を大幅に上回り、日本経済が成熟期を迎える。住宅を短寿命で壊して新築をどんどん建てるとい時代はすでに昔の話。社会資産としても住宅を長く大切に使うことが強く求められている。

また、住宅所有者にとってライフサイクルコストの面からも、しっかりと維持・メンテナンスしながら住宅を長く大切に使うことはメリットが大きい。(独)住宅金融支援機構の「住宅市場動向調査」によると、一般消費者が住宅事業者選びで重視するポイントは「建物の性能」が58・0%と約6割でトップ。そしてこの「建物の性能」のなかでも重視するポイントは「耐震性」や「省エネルギー性」を抑えて「高

態調査」によると、軒の出の長さは全国平均で9・4%。地域別で見ると、北海道(40・5%)を除くと、四国(16・2%)について首都圏(12・9%)が多い。

ハウゼコは雨仕舞や経年劣化など住宅の耐久性を重視した商品開発が大きな特長だ。その同社が準防火地域における軒ゼロ住宅向けに展開しているのが防水ケラバパッキン「デネブウォーターブルーパッキンB」である。高価な熱膨張剤を使わずに防火対策をしていることが特長で、「熱膨張剤は高い効果を持つが、樹脂の劣化により10〜20年後に発泡する

耐久性」が1位となっている。

内外装を含めたデザイン、最新の設備機器などに比べ、長く持つ住宅づくりは構造躯体に係る部分が多く、どうしても地味に見られがちな部分。しかし、その配慮が欠かせない時代になった。

住宅の長寿命化を図るうえで欠かすことができない大きなポイントの一つが構造躯体の通気・換気対策だ。メーカー各社は、効率的な躯体の通気・換気対策を行うためさまざまな商品をラインアップし、提案を進める。

その一つの切り口が都市部の住宅に向けた商品開発。大都市への人口集中が進むなか、都市型住宅の特長となるデザイン、また、防火への規制に対応する商品提案が活発だ。

こうした各社の通気・換気部材商品の商品戦略を追った。

かどうかわからない(神戸屋史社長)と、経年劣化によって防火性能が落ちないという耐久面、また、コスト面で差別化を図る。

軒ゼロは準防火地域で多く建てられており、3階建て住宅などでは妻面の下側から雨が浸入するケースが多い。同商品は雨仕舞を重視しており、その点でも評価が高いという。また、意匠面の配慮も見逃せない。熱膨張剤を使う換気部材はデザイン面でデメリットになることから、デザイン重視の住宅事業者から喜ばれている。今年11月には現在の厚さ12mmを15mmに仕様変更し、さらに使いやすくなる予定だ。

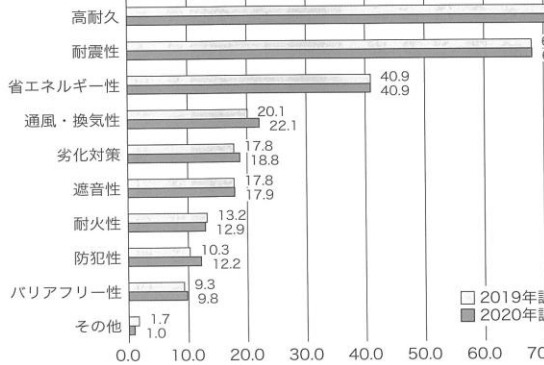
同社が「デネブウォーターブルーパッキンB」とあわせて、軒先に使用することを勧めているのが防火対応軒裏換気部材「デネブハフレス」。破風を使わず準耐火45仕様を実現した商品で、10年ほど前の商品だが、破風・鼻隠しが不要で、軒天にすっきりと納まり、軒ゼロデザインにマッチすることから人気商品となっている。

軒先に「デネブハフレス」、ケラバ側に「デネブウォーターブルーパッキンB」をセットで使用することで、デザイン的にもすっきりと納めることができる。とともに、部材コストの低減も図ることができる。



「デネブウォーターブルーパッキンB」は熱膨張剤を使わず、雨仕舞にも配慮した軒ゼロ住宅向け防水ケラバパッキン

【建物の性能】で重視するポイント
(調査対象：一般消費者)



出典：(独)住宅金融支援機構「住宅

雨仕舞、防火対策など 耐久性を第一に差別化

ハウゼコ

都市型住宅のデザイン上の一つのポイントが軒ゼロだ。

(独)住宅金融支援機構の「フラット35住宅仕様実

準防火地域ではこう使う！
ハウゼコセットで
一発解決・高性能・コストダウン可能

ハウゼコ 軒ゼロ 準防火セット

ケラバ・妻側には 防水ケラバパッキン
デネブウォーターブルーパッキンBを！

軒先には 防火対応軒裏換気部材
デネブハフレスを！

準防火地域対応！
妻側壁通気層の換気
妻側の雨水浸入防止
納まりスッキリデザイン

準耐火45仕様！
軒先側通気層の換気
破風・鼻隠しが不要
軒ゼロデザインにマッチ

水上
デネブウォーターブルーパッキンB

水下
デネブハフレス

株式会社ハウゼコ 大阪府大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル6F TEL.06-4963-8266 FAX.06-4963-8267
hauseco.jp